

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年 9 月 23 日掲載

2 年 1 組 堀本美空

私が住んでいる苓北町の総人口は 7 2 2 3 人。その内、6 5 歳以上の高齢者は 3 9. 9 % とお年寄りが多い町です。

登下校する時、必ずお年寄りを目にします。農作業をされている方、散歩をされている方など様々ですが、皆さんとてもお元気そうです。苓北町は他の市町村と比べると生活しやすく、行政の取組も進んでいると思います。

しかし、スーパーマーケットに行ったときに、ふと気になったことがあります。それは、セルフレジです。人手不足解消や釣銭間違い予防に役立ち便利ではあるのですが、お年寄りの方は戸惑っているように感じました。私たちは、慣れているので、それほど抵抗はないのですが、お年寄りは慣れないし、店員とも会話ができず大変そうです。

私は、祖父母と同居しています。毎日父母の代わりに、私たちの面倒を見てくれます。車の運転もするし、まだ元気な祖父母ですが、やはり機械化に戸惑っているようです。これから先、日本は少子高齢化がさらに進みます。それに伴い、機械化、キャッシュレス化が進んでいくでしょう。私たちには便利なものでもお年寄りには生活しにくいものになっているのではないかと感じます。

便利な世の中にはなっていますが、それは本当にお年寄りにとっても便利なのか疑問です。お年寄りの方も分かりやすい、そして、人にとってやさしい世の中にしていくために、自分たちができることを考え実践していく必要があると思います。